

令和5年度 奈良県立郡山高等学校 学校評価計画表

【高等学校用】

年度	令和5年度（中期計画2年目）
本校の使命 (スクール・ミッション)	長い伝統の中で培われた文武両道の精神を基礎に、社会に有為な人材を育成します。
年度重点目標	<p>本校教育実践の蓄積を生かしつつ、新しい時代に生徒が未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指します。</p> <p>(1) 生徒の学習が活性化し、積極的に学びに向かうよう、ICT等を活用し、授業改善を進めます。</p> <p>(2) 自ら課題を見つけ考え、他者に伝える力を身につけ協働していくため、探究的取組を積極的に進めます。</p> <p>(3) 将来への希望を育み、その実現に向かうエネルギーを培います。また、変化する入試などの情報を的確に把握し、進路実現につなげます。</p> <p>(4) 部活動、学校行事、地域協働等とおして、豊かな人間性の獲得と人格の涵養に努めます。</p>

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針 (スクール・ポリシー)	<p>入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p> <p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <p>1 集団の中において自らの役割を理解し、自ら考え積極的に貢献しようとする生徒</p> <p>2 基礎的学力を身につけた上で、課題を解決できる力を伸ばそうとする意欲のある生徒</p> <p>3 部活動や学校行事などに参加し、自らの人間力を高めようとする生徒</p> <p>4 自他尊重の精神を持ち、人を大切にしようとする意識が高い生徒</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校では、新しい時代を切り開く資質・能力を育成するために、確かな知識理解力や思考力を身につけ自ら考えることのできる確かな学力と豊かな心や健やかな身体を育成することを目指し、以下の方針を示します。</p> <p>1 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく培い、進路実現につなげることに注力する。</p> <p>2 新しく構築した総合的な探究の時間を軸に、各教科にわり応用を磨く。</p> <p>3 学校行事や地域活動への参加を活発にし、集団としての行動力やコミュニケーション力を身に付ける。</p> <p>4 部活動を通して人間力を高める活動を大切にします。</p>
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <p>1 卒業後も向上心を絶やさず、自ら学び続けることができる。</p> <p>2 自分を大切に、人を思いやり、集団の構成員としての役割を果たそうとする心情を確固とする。</p> <p>3 新しい時代を切り開こうとする気概を持ち、有為な人材として社会に積極的に参加しようとする意思を持つ。</p>

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標 (A)	計画期間における具体的目標 (B)	令和5年度末の目標値等 (C)	令和5年度末の状況 (D)	自己評価 (E)	学校関係者評価 (F)	改善方策
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基本的生活習慣の確立	挨拶自己達成率90%以上	挨拶自己達成率85%以上				
	部活動の充実	1,2年生3学期の加入率90%以上かつ入部者の満足度90%以上	1,2年生3学期の加入率90%以上かつ入部者の満足度90%以上				
	学校行事に関わる意欲向上	実態調査で「意欲的に取り組めた」とする生徒90%以上	諸行事の実施（コロナ禍前の水準で）と生徒意欲の喚起				
	基礎体力の向上	体力テスト2,3年平均Tスコア50以上	体力テスト2,3年平均Tスコア50以上				
	読書意欲の向上	生徒実態調査、ヒアリアル後アンケートで関心の高まり75%以上	生徒実態調査、ヒアリアル後アンケートで関心の高まり73%以上				
	基本的生活習慣の確立	美化活動への積極性を育む。実態調査で、「清掃にすすんで取り組んでいる」と答えた生徒の割合が、55%以上	美化活動への積極性を育む。実態調査で、「清掃にすすんで取り組んでいる」と答えた生徒の割合が50%以上				
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	学習意欲の向上	授業アンケート質問項目「学ぶことへの意欲が高まる。」回答スコア3.5以上	授業アンケート質問項目「学ぶことへの意欲が高まる。」回答スコア3.5以上の維持と更なる向上				
	それぞれの行事についてアンケート満足度90%以上を目標とする。	それぞれの行事についてアンケート満足度90%以上を目標とする。					
	探究的取組に向けての授業改善	授業アンケート質問項目「生徒の主体的な活動ができる。」回答スコア3.5以上	授業アンケート質問項目「生徒の主体的な活動ができる。」回答スコア3.5以上の維持と更なる向上				
	ICTを活用した教育活動	全教員がICT機器を活用した授業を50%以上実施している。	ICT機器を活用した授業を50%以上実施している教員の割合が80%以上				
	進学率の向上	現役生徒の大学進学率90%以上を目標とする。	現役生徒の大学進学率90%以上を目標とする。				
	探究活動資料の充実	探究活動資料の図書館での利用度が前年度比増	探究活動資料を分類・整備し、提示して活用を促す。				
学校における働き方改革	月に1回の定時退庁日を設定	学期に2回の定時退庁日を設定					
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の充実	アンケート満足度95%以上を目標とする。	アンケート満足度85%以上を目標とする。				
	アカデミックインターンシップへの参加	参加生徒数の前年度比増	参加生徒数の前年度比増				
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	「奈良タイム」の効果的活用	プレゼンテーション後のアンケート満足度90%以上	プレゼンテーション後のアンケート満足度85%以上				
	地域行事への参加	参加行事数または参加生徒数の前年度比増	コロナ禍前に参加していた行事が復活すれば部活動・家庭クラブ・環境整備部等と連携し参加				
	学校運営協議会の効果的運営	学校運営協議会の開催 年2回以上	学校運営協議会の開催 年2回以上				
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校と家庭・地域をつなぐ情報発信の向上	情報発信の方法の強化と、発信する内容の充実	情報発信の方法の整備と強化、及び発信する内容の充実と精選				
	人権教育学習の充実	HRにおける時間数の確保と理解度の向上	人権HRに取り組む姿勢の自己評価が5段階で4以上の生徒が80%以上				
	特別な支援や配慮を要する生徒への対応力強化	SCとの連携強化や個別の支援計画などの作成	必要に応じてSCを交えてケース会議を行い、支援の充実を図る。				
	グローバルな視点・経験の育成	リーダー育成海外研修・エンパワーメントプログラム参加者アンケート満足度90%以上	リーダー育成海外研修・エンパワーメントプログラム参加者アンケート満足度90%以上				
	生徒の学習環境を整える	予定されている工事において、生徒学習環境への影響をなるべく少なくし工事が工期どおりに進むよう調整を行う。	講堂天井耐震工事等において、生徒への影響をなるべく少なくし、工事が工期どおり進むよう調整を行う。				

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--